

令和 9 年度「データサイエンス技術者養成講座」

募集要項

弘前大学大学院理工学研究科

令和 8 年 1 0 月 2 1 日

令和9年度「データサイエンス技術者養成講座」募集要項

1. 事業の趣旨・必要性

本講座は、数理・データサイエンスに立脚し、人工知能（AI）やビッグデータ等を活用することができる民間人材の育成を目的としています。想定している受講対象者は、地方公共団体や地域の企業に属する若手社会人、高等学校教員です。この方々に数理・データサイエンスに関連する学部レベルの教育を提供することによって、地域においてデータサイエンスおよびAI等を活用したイノベーションを起こせる民間人材の育成をサポートいたします。

日本政府のAI戦略2019では、4つの戦略目標「人材」、「産業競争力」、「技術体系」、「国際」を設定し、その実現のためにデジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍することを教育改革の具体的な目標として掲げています。また、青森県では、令和6年に「青森県DX推進プラン」を策定し、産業・しごと分野、暮らし・まち分野、行政経営分野の3つの分野を中心としたDXを展開しています。さらに青森県においては、若年層の県外流出が深刻な問題となっており、この対策のために魅力的な働き口を地元に創出することも求められています。

弘前大学では2022年4月に数理・データサイエンス教育センターを設置し、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（MDASH）が求めている内容に沿った数理・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル プラス）を全学生に対して実施しております。また、同認定制度の応用基礎レベルの実施と、これらの教育プログラムの点検・評価・改善および専門教育への接続等のサポートも行っております。

このような本学全体の取り組みを学外にも展開するため、理工学研究科では、社会人を対象として、学部レベルのデータサイエンス関連教育を実施する履修証明プログラム「データサイエンス技術者養成講座」を令和8年4月より開始いたしました。理工学部学士課程のカリキュラムの中からデータサイエンスに関連する科目をいくつか選び、地方公共団体や地域の企業に属する社会人、高等学校教員が働きながら学べるプログラムとして構成いたしました。本講座を修了することにより、北東北特有の社会的課題を認識し、本学が有するビッグデータ等を具体的な事例として実装技術を修得し、データサイエンスおよびAI等を活用したイノベーションを地域に起こしていただけるようにすること、ひいては新しい魅力的な働き口の創出までつなげていただくことを目標としております。

2. 教育目標／育成する人材像

- (1) 所属組織の所有する様々な情報のデータ収集、解析、分析を行い、課題を認識してデジタル技術を活用した解決策を検討し、実用化・社会実装まで先導することができる人材
- (2) 所属組織の所有する技術やデータを活用した新たな付加価値やサービスを生み出すことができる人材

3. カリキュラムの特徴

弘前大学理工学部学士課程において開講する講義科目[180h]により、データサイエンスについて体系的に学ぶことができます。なお、全ての科目は、本学部生と一緒に講義を受講することとなります。ただし一部の科目については、メディア授業（オンデマンド形式やオンライン授業）でも受講できるようにする予定です。

学士課程講義科目 [180h]

1. 「データサイエンス基礎 [22. 5h]」（オンデマンド／対面）
（シラバス番号【1】）
2. 「データサイエンス応用 B [22. 5h]」（オンデマンド／対面）
（シラバス番号【2】）
3. 「データサイエンス実践（データサイエンス発展 II） [22. 5h]」
（シラバス番号【3】）
4. 「応用計算演習（計算科学応用演習） [22. 5h]」
（シラバス番号【4】）
5. 「人工知能 [22. 5h]」
（シラバス番号【5】）
6. 「組み込みシステム応用 [22. 5h]」
（シラバス番号【6】）
7. 「計算機プログラミング [22. 5h]」
（シラバス番号【7】）
8. 「自然エネルギー演習 I [22. 5h]」
（シラバス番号【8】）

※（）内の科目名は、カリキュラム改正による変更前の科目名

4. 実施体制

本講座は、「弘前大学における履修証明プログラムに関する規程」に基づき、以下のように実施します。

（１）履修生の決定

提出された申請書類等を審査し、その結果を志願者へお知らせします。

（２）修了要件

総時間数 180 時間のうち 60 時間以上の講義等履修し、かつ履修期間の最後に課すレポート課題を提出することが修了要件です。ただし、「データサイエンス基礎」と「データサイエンス応用 B」については、全ての講義を受講を必須とします。毎回、所定の方法で出席確認を行います。

(3) 履修証明書の交付

修了者には弘前大学長から履修証明書が発行されます（単位認定するものではありません）。

(4) その他

① メンターについて

履修を進める上での相談相手（メンター）を設け、履修生の学習をサポートします。

② 附属図書館の利用について

附属図書館を利用することができます。一度に5冊まで図書や雑誌を借りることができます。

5. 履修生証の交付

本講座を履修する者には、弘前大学学則（平成16年度規則第2号）第48条に規定する聴講生とみなして、履修証明プログラム履修生証を交付します。

6. 募集人員

5名程度（各年度）

7. 履修期間

本講座の履修期間は1年間です。（ただし、申請により2年間の履修期間を認めます。）

8. 履修資格

(1) 地方公共団体や企業に所属している者、高等学校教員

(2) 高校を卒業した者または同等以上の学力を有すると認められる者

【履修資格の確認が必要な方は、理工・農生事務部教務担当（0172-39-3930）へお問い合わせください。】

9. 履修開始までの流れ

(1) 説明会

令和8年11月17日（火）18時00分～

(2) 申請期間

令和8年11月17日（火）～令和9年1月22日（金）（必着）

(3) 申請結果の通知

令和9年2月27日（土）頃までに、志願者へ通知を送付します。あわせて履修予定者へ開講式や受講料についての案内を送付します。

(4) 開講式

令和9年4月
理工学部（会場未定）

(5) ガイダンス

令和9年4月 開講式終了後，同会場で引き続き実施

10. 申請書類

(1) 申請書類

申請書類は【別紙1】のとおりです。弘前大学理工学部・理工学研究科ホームページからダウンロードできます。

<https://www.st.hirosaki-u.ac.jp/>

- ① 提出書類チェックシート
- ② 様式1 履修申請書
- ③ 様式2 履歴書
- ④ 様式3 職務経歴書
- ⑤ 様式4 履修希望理由書
- ⑥ 所属長の推薦書（様式任意：提出可能な方のみ）
- ⑦ 履修資格の証明書類

（例）

- ・高校卒業証書の写し（サイズは変更して構いません）
- ・高校卒業証明書の原本（卒業校へ連絡し，お取り寄せください）
- ・その他証明になる書類

(2) 提出方法

- ① 申請書類の郵送は「簡易書留」とし，封筒の表に「データサイエンス技術者養成講座 履修申請書在中」と朱書きしてください。

【提出先】

〒036-8561

青森県弘前市文京町3番地

弘前大学理工・農生事務部 総務グループ教務担当

- ② 不備のある申請書類は受け付けません。
- ③ 虚偽の記載があった場合は，履修資格を取り消す場合があります。
- ④ 一旦受理した書類は返却いたしません。

11. 受講料

受講料は、30,000 円です。

(履修に 2 年間に要した場合も、受講料は 30,000 円です。)

本学指定の口座へ、納付期間内に納付してください。納付確認ができない場合には、履修資格を取り消す場合があります。一旦納入された受講料は、原則として返還できません。

受講料のほか、実習等に係る経費等を履修生にご負担いただく場合があります。

・納付期間

履修期間	納付期間
令和 9 年度分	令和 9 年 4 月予定

・振込口座（履修予定者へは、申請結果通知の際に納付案内を発送予定です。）

○青森みちのく銀行 親方町支店 普通預金 番号 1228586

口座名義 国立大学法人弘前大学 学長 福田 眞作

口座カナ名義 ダイ) ヒロサキダイガク

○ゆうちょ銀行 記号番号 02270-0-64091

加入者名 弘前大学

※ゆうちょ銀行以外からの振込の場合

ゆうちょ銀行 二二九店 当座預金 番号 0064091

口座名義 弘前大学

口座カナ名義 ヒロサキダイガク

12. 個人情報の取扱い

申込みに際し取得した個人情報は、本学事業の目的以外に使用しません。